

9. 海洋環境と植物プランクトン

実習生は、森、川、里、海の4つの班に分かれ、班単位で実習に取り組みます。樹木識別、毎木調査、土壌調査、水生生物調査などの野外調査を実習します。また、水質調査の基礎として、溶存成分の比色分析実習などを行います。

レポートは、班ごとに毎木、土壌、昆虫、河川水生生物、厚岸湖水生生物調査について作成するとともに、実習生個人で、植生、土壌、動物、水質などの中から一つを選択して作成する。また、各班それぞれの観点から別寒辺牛川流域全体の森川里海の連環について発表し、最終レポートを提出して実習を終了します。

なお、日程等については「その他」を参照してください。

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

レポート(50点)、出席状況(25点)、最終発表(25点)で総合的に評価します。

【教科書】

実習地到着後のガイダンスでテキストを配布します。

【参考書等】

(参考書)

授業中に紹介する

動植物の同定に関する図鑑等は、研究林、臨海実験所が保有するものを貸し出します。また、その他の参考書等については、実習中に行う講義の中で、適宜紹介します。

(関連URL)

<https://fserc.kyoto-u.ac.jp/wp/blog/archives/23929>

<http://www.fserc.kyoto-u.ac.jp/>

【授業外学修(予習・復習)等】

森や川の生き物が、その周辺の環境とどのような繋がりを持って生きているかを、普段から観察し考えておくと、この科目の中で受ける講義や実習の意味がよく理解できるようになるでしょう。

個別のレポートを積み上げるだけでは、最終レポートは完成できません。同じ班を構成する実習生は、それぞれ異なる考えや発想を持っているので、実習で得られたデータをもとにまとめることで、森川里海の連環の様子を描くことができます。実習時間だけでなく、1週間全体の時間を使ってみんなと議論することで、データを解釈し、意見をまとめる力も養ってくださればと思います。

【その他(オフィスアワー等)】

(1)2018年5月ごろに募集説明会を行い、日程、費用、持ち物等の詳細を示しますので、必ず参加してください。説明会の日程・場所等については、2018年4月下旬頃にFSERCホームページ(<http://www.fserc.kais.kyoto-u.ac.jp/>)上で公表するとともに、全学共通教育掲示板に掲示します。出席しなかった場合は、原則として受講できないものとします。定員は10名で、希望者が多数の場合は、説明会場にて抽選します。また、定員に満たなかった場合は、追加募集の期間を設けますが、実習地への到着ルートをしっかり決めて応募してきた受講希望者の先着順となるので注意してください。

なお、募集を締め切り、受講生が確定した段階で、履修生の登録を行います。その後は、受講をキ

キャンセルすることができません。後日都合で実習に参加できなかった場合、最低の授業評価となってしまいます。GPA得点に影響することに注意してください。

(2)日程は2018年9月3日(月)から9日(日)の予定です。原則として現地集合・解散となりますが、詳細は募集説明会のときに連絡します。

(3)本実習は北海道大学の実習科目「森・里・海連環学：北大・京大合同演習」と合同で行い、両大学とも10名が履修する予定です。また、その他の大学生が公開実習として受講する場合があります。

(4)学部の理系・文系は問いません。高校で生物を履修していることが望ましいですが、必須ではありません。

(5)北海道大学など他大学生も受講します。実習期間中に、他大学生との交流を深めてくださればと思いますが、野外実習を安全かつ効果的に実施するため京都大学生の募集定員は10名としています。

(6)学生教育研究災害保険、附帯賠償責任保険には必ず加入しておいて下さい。また、旅行保険に加入することをお奨めします。なお、保険加入にあたっては、家族等とよく相談してください。

(7)費用は食費等実費(例年10,000円程度)が必要です。実習地までの交通費は各自で負担してください。

(8)実習の日程上、成績報告が遅れますので、注意してください。

(9)実習期間中、とくに野外での活動の際には、教員・ティーチングアシスタント・技術職員等からの指示、注意等をよく守って行動するようにしてください。